



▲みんなで楽しく「三味線講座」

3月23日、中央公民館で人材バンク活用講座として「楽しい三味線講座」が開催されました。邦楽倶楽部を主宰する松藤洋呼さんの指導の下、受講者25人は三味線のいろはから勉強し、三糸のドレミの説明後、三味線を持って真剣に練習していました。【大滝 隆司】



▲春休み最後の日を満喫

春休み最後の日、子どもたちは桜の花びらが舞う中、新しくなった綾南公園の遊具で、夕焼け小焼けのメロディーが流れるまで遊んでいました。【福島 順一】



▲ミモザが満開

まだ寒さが残る3月上旬、桜の花が蕾み始めたころ、文化会館の広場のミモザが春の日差しを浴びて咲き誇り、見頃を迎えていました。【段木 武】



▲あやせ名産品会が海老名SAに初出店しました

3月23日・24日に東名高速道路上り線の海老名サービスエリアにあやせ名産品会(志澤勝会長)が初出店し、名産品を買い求めたり、興味深く眺めたり、多くの人を訪れていました。



▲今年も華やかに咲きました

上土棚南三丁目の蓼川べりに6本のシダレザクラがあります。隣接する団地に住む有志の皆さんの丹精のおかげもあって、今年は3月下旬に満開となりました。【河野 実】



▲アヤセプロムナードコンサート

3月27日、文化会館で神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるプロムナードコンサートがありました。同楽団と綾瀬中学校の吹奏楽部との合同演奏もあり、約1200人の観客が聴き入っていました。



「まち特」始動

4月10日、市役所で広報まちかど特派員委嘱式を行いました。同特派員は、地域の催しなどを取材しますので、撮影などに協力をお願いします。特派員への取材希望は秘書広報課(☎70・5606)まで連絡してください(取材できない場合もあります)。



署名記事は広報まちかど特派員から



▲城山こみちは花いっぱい

入り口には「至福の散歩道」という看板があります。城山公園から比留川までの265m、桜やハナモモなどの花が咲き乱れ、四季折々の風情を感じることができる小道です。【高橋 元】



▲チューリップの花言葉は「思いやり」

蟹ヶ谷公園は春うらら。昨年の秋、オークラフロンティアホテル海老名から寄贈されたokura(オークラ)100株を含む約3000株が、赤、白、黄色ときれいに咲き誇り訪れる人を温かく迎えてくれました。【秋元 謙治】



▲10年間の集大成

4月2日、深谷大上ふれあいの家で、見上房江さん(83歳、大上在住)が、パッチワーク・キルト展を開きました。10年ほど前から製作を始めたベッドカバーや壁掛けなど10点余りが展示され、訪れた人から好評を得ていました。【吉江 旭】